



東日本大震災を踏まえた 防災力の充実・強化

災害に強く安心して暮らせるまちづくりを目指して

近年、地震のほか、豪雨や洪水、土砂崩れ、火山噴火など自然災害が多様化・多発化しています。県では、東日本大震災をはじめとした過去の災害の教訓を踏まえて、自然災害の発生時に円滑に支援活動を行うための広域防災拠点と圏域防災拠点を整備し、市町村が行う防災活動を強力に支援するとともに、自主防災組織の育成などにより地域防災力の強化にも取り組んでいます。

中でも東日本大震災で重要性が再認識された「自助」については、自主防災組織の活性化と、コミュニティの中で防災リーダーとして中心的な役割を担う宮城県防災指導員の養成を推進しています。県では、今後とも、市町村など関係機関と連携しながら県全体の防災体制の強化を図っていきます。

圏域防災拠点には、今後、通信機器のほか、防災活動を行うための大型仮設テントや投光機などの防災資機材を整備します。また、平成29年度の一部運用開始に向け、市町村および関係機関と共に、各圏域の防災拠点開設運営マニュアルの策定を進めていきます。

広域防災拠点・圏域防災拠点の整備

広域防災拠点は、ヘリコプターの「大型離着陸場」や、大規模な「支援部隊の活動・集結拠点」、全国からの「支援物資の集積・配送拠点」のほか、「災害医療活動拠点」の機能を有するなど、県内全域をカバーする防災拠点として中核的な役割を担います。県では、広域防災拠点の敷地となる仙台市宮城野原地区のJ.R貨物駅用地を県議会の議決を経て取得しましたので、今後着実に整備を進めていきます。

圏域防災拠点は、市町村の防災拠点が被災などで利用できない場合に、支援部隊の活動や、物資の集積・配送拠点として市町村が行う防災活動を支援する役割を担います。この圏域防災拠点として、7圏域にある8カ所の施設を選定しています。

- 長沼フットピア公園
- 宮城野原広域防災拠点
- 宮城県庁(災害対策本部)
- 広域防災拠点
- 圏域防災拠点
- 宮城野原高等学校
- 気仙沼・本吉圏
- 登米圏
- 石巻圏
- 石巻市総合運動公園
- 大崎圏
- 大崎市古川総合体育館
- 仙台圏
- 宮城県総合運動公園
- 仙南圏
- 蔵王町総合運動公園
- 白石高等技術専門学校
- 栗原圏
- 栗原市総合運動公園

広域防災拠点の役割に期待

災害時医療機能の隣接に期待

国立病院機構 仙台医療センター 救命救急部長 救命救急センター長 山田 康雄さん

仙台医療センターは県内唯一の基幹災害拠点病院であり、災害時には広域防災拠点に整備される広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)と連携して医療活動に携わる役割を担う。現在建設中の新病棟は、広域防災拠点の予定地に隣接する。

「ドクターヘリの基地である当病院と広域防災拠点がほぼ同じエリアになるのは、とても意義があります。広域防災拠点には大型ヘリの発着スペースもあり、有機的に連携して傷病者の方々の搬送にできます」

東日本大震災の発生後、SCUで災害派遣医療チーム(DMAT)を統括するコーディネーターとして活躍。采配に苦勞する中で大きな教訓を得た。

「SCUは自衛隊霞目駐屯地に設けられ、発災後4日間ほど詰めました。DMATと自衛隊、消防とで良いコラボレーションができた一方で、基幹病院との間においては、情報のやりとりや医療スタッフ・資器材の移動、患者さんの搬送の点が課題となりました。広域防災拠点整備で当病院とSCUが隣接できれば、災害医療のパージョアップが期待できます。SCU活動の後、県庁内の災害対策本部で、自衛隊、消防、行政などの各機関との調整作業にも関わりましたが、同一空間で他機関が互いに協議できることの大切さを実感しました。今後、医療を含め各機関の実動部隊が集結する広域防災拠点で、同じように協働できれば大きな力を生むでしょう。災害時の医療支援は、指揮と調整が欠かせません。本部と現場、前線と後線を結ぶ縦と横の連携が大切です」

また、複数の災害で医療活動した経験から「情報」の重要性も強く感じている。「災害医療は情報戦です。情報の共有と調整統制が一番の鍵になります。訓練も必要です。3.11の時も『あの訓練をしておいて良かった』という話が何度も出たものです」

人づくり、防災教育に活用を

東北大学災害科学国際研究所所長・津波工学教授 今村 文彦さん

東日本大震災後の2012年4月に設立された東北大学災害科学国際研究所は、防災・減災に関する学際的な研究を推進する文理連携のチームだ。震災の経験から得た教訓を踏まえ、広域防災拠点をはじめ宮城県の防災施策にも提言・助言をしている。

「災害は規模がさまざまです。3.11のように広域で巨大な津波津波もあれば、洪水のようにローカルな被害を及ぼすものもあります。どのような災害にもきちんと備え、発災後に迅速に対応することが求められ、その防災の中核を担うのが広域防災拠点です。3.11の課題を改めて整理して、施設づくり、人づくりを進めてほしいと思います」

災害発生時に、防災拠点がその機能を発揮するのはもちろんだが、平常時にも多方面に活用されることを期待している。

「広いスペースがあるので、研修や訓練を実施する時は、被災地への対応をシミュレーションし体験できる場を提供してほしいです。また、学校の生徒たちにとっても、防災教育の場として大きな役割を果たせるでしょう。人を育て、次世代へとつなげて防災啓発を広げてほしいと思います」

「実践的防災学」を体系化して世界に発信しており、宮城県にも強い発信力を期待する。

「私たちも協力していきますので、3.11の経験と教訓、知見を国内外に発信してもらいたいです。他の模範となるような新しい取り組みを行政や地域、個人に伝えてほしいと思います。先日『みんなの防災手帳』を埼玉県鴻巣市で作成し、われわれの経験・教訓を伝え、次の災害への備えとして自分の生きる力を向上させる取り組みを開始しました。さまざまなアイデアを出し合って、楽しみながら防災に役立つものを作り上げることも大切です」

地域の防災力向上へ支援を

宮城県町村会会長・蔵王町長 村上 英人さん

宮城県町村会の会長として防災・減災に対する考えを他の首長と共有するとともに、町内には仙南の圏域防災拠点施設である蔵王町総合運動公園を抱える。大規模災害への心構えを常に持ち、県との連携を意識している。

「近ごろ地震のほか、豪雨や洪水、土砂災害、さらに火山噴火など自然災害が多様化、大規模化しており、市町村だけでの対応が困難になってきています。東日本大震災をはじめ過去の災害の教訓を踏まえ、県と市町村が連携して被害を最小限に抑え、迅速な復旧を図るための防災体制を構築することが必要です」

市町村が対応できないほどの大規模災害時には、県が整備する広域防災拠点および圏域防災拠点の機能に期待を寄せます。

「東日本大震災では消防や警察、自衛隊など県外から支援部隊が集結する場所を県内に十分確保できず、被災地に人員を迅速に投入できませんでした。大規模な物資集積、中継の拠点もなく、被災地への集配も的確ではありませんでした。市町村では限界のある事態の場合、広域や圏域の防災拠点を有効に活用することで、救助活動や被災者支援を円滑に進めることが期待されます。そのためには訓練を重ねることも求められます」

昨年、小規模な噴火の可能性があると蔵王山に初の火口周辺警報が出された。日頃から地域防災力の強化に気を配る。

「災害時には、自治会など自主防災組織の役割がとても重要です。地域の防災力の向上へ、自主防災組織の育成と活性化は不可欠と言えます。しかし、県内の自主防災組織は、沿岸部の被災による組織力低下や高齢化など難しい問題を抱えています。各市町村は課題解決に努めています。県によるさらなる支援をお願いいたします」

企画/宮城県広報課 ◎お問い合わせ/県危機対策課 022(211)2376

県からのお知らせ

消防設備士試験 (甲種1・4類、乙種1・4・6類)

●試験日/平成29年2月5日(日)
●場所/東北大学川内北キャンパス(仙台市青葉区)
●出願/12月14日(水)～22日(木)に郵送(消印有効)により下記センターへ
●願書/下記および自主申請などで配布
※1日の申請を除き申請も可能です。
●消防試験研究センター-宮城県支部
〒981-8577 仙台市青葉区奥通南町4-17
県仙台合同庁舎5階 ☎022(276)4840
☎消防試験 ☎022(211)2374
http://www.shoubu-shiken.or.jp/

みやぎ夜間・休日DVほっとライン

県では、配偶者やパートナー、恋人との関係に悩んでいる方のさまざまな相談を受け付ける「みやぎ夜間・休日DVほっとライン」を開設しています(秘密厳守)。
【相談電話】☎022(725)3660
●受付時間/①毎週水・土曜午後5時～9時、②第2・4日曜午前9時～午後5時(①祝日・年末年始を除く、②年末年始を除く)
●県庁支庁支援 ☎022(211)2633
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/dv-hotline.html

宮城もの忘れ電話相談

あなたは今、認知症について一人で悩んでいますか?
認知症は、さまざまな病気により、理解・判断、記憶などの脳の働きが特異的に低下して

ろうあ者社会生活教室 難聴者生活支援講座

4月から施行された障害者差別解消法について、法の概要や差別とは何か、どんなことを伝えなければならないのか、一緒に考えましょう。
●テーマ/「知っておきたい障害者差別解消法」(手話通訳・要約筆記付き)
●対象/聴覚障害者および支援者など
●日時/12月17日(土)午後1時30分～3時30分
●場所/亘理町中央公民館 視聴覚室
☎ 宮城県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ) ☎022(393)5501 FAX022(393)5502
☎022(722)3858
Eメール info@mimisuppo-miyagi.org
☎ 県庁書庫3階 ☎022(211)2542

事業者向け二重債務などの相談窓口

震災により大きな被害を受けた事業者を対象に、支援策の紹介や事業計画の策定支援、二重債務問題への対応などを行っています。中小企業者のほか小規模事業者、農林水産・医療福祉事業者など幅広く相談を受け付けています。
詳しくは、下記お問い合わせください。
☎ 宮城県産業復興相談センター ☎022(722)3858
☎ 東日本大震災事業者再生支援機構 ☎022(393)8550
☎ 県商工金融課 ☎022(211)2744

経営相談所「宮城県よろず支援拠点」

中小企業・小規模事業者の経営相談窓口として、宮城県よろず支援拠点が設置されています。中小企業診断士、弁護士、社労士など、経験豊富な専門スタッフが売上拡大、経営改善、新商品開発など、経営上のあらゆるお悩みに対応します。
相談は何回でも無料で、1人で悩まず、まずは下記お問い合わせください。
☎ 宮城県よろず支援拠点 ☎022(225)8751
☎ 県中小企業支援室 ☎022(211)2742

獣医師の届け出について

獣医師の方は、2年ごとに12月31日現在の状況を農林水産大臣に届け出る義務があります。該当する方は、忘れずに届け出ください。
●提出期限/平成29年1月31日(火)
●提出先/最寄りの県畜産保健衛生所
●様式/ホームページからダウンロード
☎ 県内の各畜産保健衛生所
☎ 県畜産課 ☎022(211)2854
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tikusanka/juishihoto22jo.html

宮城県公立学校教員採用説明会

県では、平成29年度に実施する平成30年度採用選考について、受験予定の方を対象に説明会を開催します。
①東京会場
●日時/12月7日(水)午後6時30分～8時
●場所/東京海洋大学白鷹館

多目的スペース1(東京都港区)

②仙台会場
●日時/12月17日(土)午後2時～3時30分
●場所/県庁2階講堂
●受付/①②いずれも開始30分前から
●定員/①②いずれも100人
●申し込み/開催日の前日までに、電話、ファックス、Eメールにて下記へ、または、ホームページから電子申請
☎ 県教職課 ☎022(211)3637 FAX022(211)3698
Eメール kyosykn@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/

駐車監視員(放置駐車違反の確認業務)資格講習

●定員/40人(先着順)
●日時/平成29年1月25日(水)、26日(木) 午前8時45分～午後5時(2日間、計14時間)
●場所/パレス宮城野(仙台市青葉区)
●申し込み/平成29年1月6日(金)までに、申込書に必要事項を記入し、持参(月曜～金曜、祝日を除く)または郵送(消印有効)により下記へ
☎ 県警察本部交通指導課 ☎022(221)7171 (内線5143～5149)
〒980-8410 仙台市青葉区本町3-8-1
http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/sido/sido_index.html

食材王国みやぎ Vol.3

食材王国みやぎが誇るおいしい食材をご紹介します。

■ 仙台湾を代表する「マガレイ」「マコガレイ」

広い砂浜域がある仙台湾では、さまざまな種類のカレイが、年間を通して水揚げされており、「みやぎのさかな10選」にも選ばれています。これらから旬を迎え漁獲量が増えるのが「マガレイ」と「マコガレイ」。12月から3月にかけては、身が締まり脂が乗ってとてもおいしい時期です。

■ 正月の縁起物「ナメタガレイ(ババガレイ)」

宮城の年取りにかかせないのが「ナメタガレイ」。この時期にだけ産出されるナメタガレイは「持ち子ナメタ」と呼ばれ、子孫の繁栄を願う縁起物として、主に煮付けで食べられ、余った煮汁を冷やして「煮ごり」としておいしく食べられます。

新鮮なカレイを選ぶポイントは「ぬめり」!

一尾丸ごとで選ぶ際には、特徴である「ぬめり」のあるものを選ぶこと。ぬめりが分りにくく切り身の場合は、表面に光沢があって肉厚のものがポイントです。調理の際は下処理が肝心。鮮度の目安になるぬめりも、調理すると臭みの原因となるため、血合いなども取り除きましょう。

シンプルなお調理法で楽しむ素材本来のおいしさ

持ち子ものは煮付けが一番ですが、小ぶりなものは唐揚げもお薦めです。小麦粉をまぶし、バターで両面を焼き上げてムニエルにし、仕上げにしょうゆを回しかけたらフタにも合う一品になります。ちょっと意外な食べ方は、カレイを沸騰したお湯の中に入れて煮るだけの「湯煮(ゆに)」。ポン酢などで食べれば、素材本来のおいしさを楽しめます。宮城は一年を通してさまざまな魚が水揚げされます。ぜひ、季節ごとのおいしい魚をお楽しみください。

☎ 県畜産課 ☎022(211)2813
食材王国みやぎホームページ http://www.foodkingdom-miyagi.jp/